

創業支援等空き店舗等活用事業

空き店舗活用で焼山地区に温泉民宿を創業

市では、空き店舗等を活用した起業・創業を支援する「創業支援等空き店舗等活用事業」を実施しています。今号は埼玉県から移住され、この事業を活用して焼山地区に温泉民宿を創業している田村暁さんを紹介いたします。

INTERVIEW 移住者の声

広げたい、世界経由のおもてなし

ー移住のきっかけは？

前職では添乗員として、お客様と共に国内外を渡り歩いていました。将来は、お客様を連れていく側ではなく、もてなす側になりたいと考え始め、旅館の開業場所を全国各地から検討していたところ、温泉付きの古民家と市の補助事業が決め手となり、十和田市への移住を決めました。

ー創業支援等空き店舗等活用事業を活用した感想は？

事業の活用により、男湯を青森ヒバ仕様の内装に改修できました。当初は予算がなく、いずれ改修できればと考えていましたが、開業時には実現でき、宿泊や日帰り入浴でお越しになるお客様にも好評で、とても感謝しています。

ー移住して大きく変わったことは？

忙しさは移住前とそれほど変わらないのですが、心身ともにゆとりが生まれました。ここにいると自然に空を見たり、山々を見たり、移住前は気付かなかった四季の移り変わりを感じるようになりました。また、春に官庁街通りの桜並木を市役所の展望台から見た時は感動しました。添乗員として多くの観光地を見てきましたが、本当に素晴らしいです。

ー十和田市の暮らしで驚いたことは？

方言です。旅館の改修中に業者さん同士が熱心に打ち合わせをしているのですが、ほとんど聞き取れず、若い人に通訳してもらったことがあります（笑）。現在勉強中で聞き取れるようになりたいと思います。

ー十和田市でのこれからの目標は？

まずは、旅館の経営を軌道に乗せて、十和田湖・奥入瀬を盛り上げていきたいです。

移住情報発信ポータルサイト「日々コレ十和田ナリ」では、田村さんが活用した「創業支援等空き店舗等活用事業」など移住支援事業の紹介や、移住者のインタビューなどを発信しています。ぜひご覧ください。



さとる
田村 暁 さん

PROFILE

さいたま市生まれ。明治大卒業後、海外秘境系の旅行会社などを経て、2016年に十和田市に移住し、「温泉民宿南部屋」（大字奥瀬字栃久保11-41）を経営。民宿は通年で営業。

市主催・独身男女限定 奥入瀬ひょうたんランプづくり教室

とき 2月25日(土) 午後2時30分～7時30分

ところ 市民交流プラザ「タワーレ」

対象 20歳以上の独身の人 男女各8人

※男性は上十三・十和田湖広域定住自立圏内（十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、小坂町）に住んでいる人

内容 ひょうたんランプづくり、交流会

講師 奥入瀬モスボール工房 代表 起田高志さん

参加費 男性3,000円 女性2,000円（材料費、交流会費）

申込期限 2月17日(金)

申問 政策財政課地方創生・婚活支援係 ☎⑤16712 NPO法人プラットフォームあおもり ☎017-763-5522



製作したランプは持ち帰りできます



ランプの明かりは周りを温かく包みます